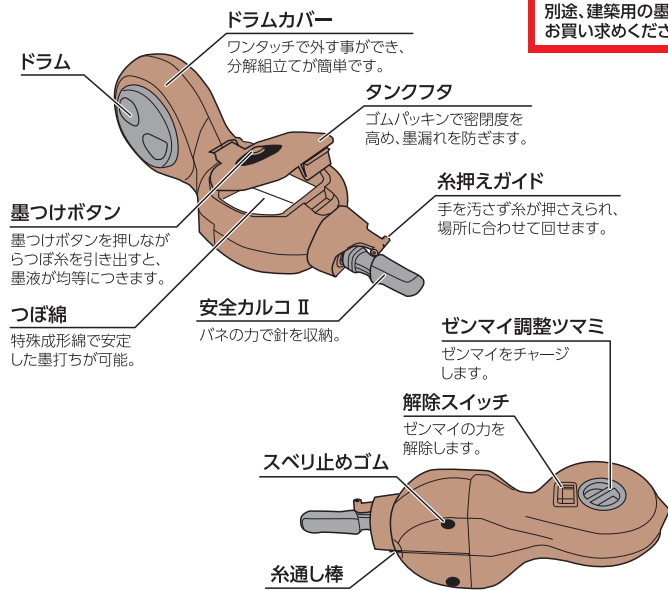


■各部の名称と特長

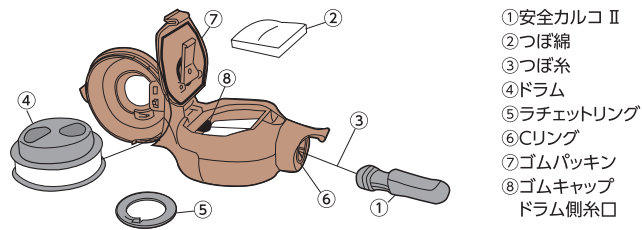


墨は別売

別途、建築用の墨をお買い求めください。

■トラブルの原因と対策

トラブル	原因	対策
つぼ糸が出ないもどらない。	つぼ糸がドラムからはずれている。	つぼ糸を正常に巻き直す。
	つぼ糸にコブができています。	コブの付いたつぼ糸を切る。
	つぼ糸のほつれがコブになっている。	ほつれた糸を切る。
つぼ糸のもどりが悪い。	バネのチャージが弱い。	バネをチャージする。
	ドラムカバーの中にゴミが入った。	ドラム④を取り出し、中のゴミを取る。
つぼ糸が無抵抗に出て全くもどらない。	ドラム側糸口にゴミが詰まっている。	ゴムキャップドラム側糸口⑧をはずし、針等でゴミを取り除く。
	ラチェットリングが入っていない。	ラチェットリング⑤を入れる。
	ラチェットリングの爪が折れた。	ラチェットリング⑤を交換。
	解除スイッチの爪が折れた。	本体交換。
ゼンマイが折れた。	ドラム④交換。	
チャージがきかない	ラチェットリングの爪がすり減った。	ラチェットリング⑤を交換。



自動巻取時はカルコが飛んできて危険です。安全のため、保護メガネを着用してください。つぼ糸を巻取る時はドラムを押さえてカルコが戻る早さを調整しながら安全に巻取ってください。

保護メガネ着用



■仕様

材質	本体：ABS樹脂・ポリアセタール樹脂 バネ（ゼンマイ） ：ステンレス
	カルコ：ABS樹脂 針：パネ鋼 つぼ糸：ナイロン つぼ綿：化学繊維 糸通し棒：ポリアセタール樹脂
本体サイズ	226×85×86mm
製品質量	280g
糸の長さ	18m（自動巻取り10m）



輸入発売元
シンワ測定株式会社
〒955-8577
新潟県三条市興野3-18-21
製造元/親和測定(大連)有限公司
URL <http://www.shinwasokutei.co.jp>

お問い合わせ
シンワ お客様相談室
0120-666899
受付時間(土日祝日除く)
AM8:30～PM5:00
MADE IN CHINA

■使用方法

⚠ 注意

① 墨液を入れる

80cc以上は入れないでください。
入れ過ぎは墨漏れの原因となります。

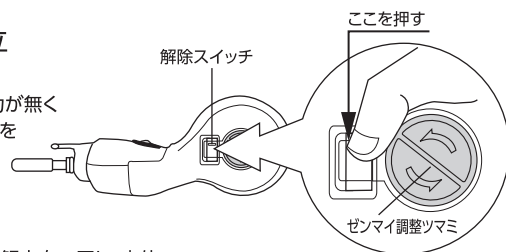
墨つぼ(建築)用の墨液以外は入れないでください。
入れると墨打ちできなくなります。

② 自動巻取

糸は18m巻いてありますが自動巻取は10mです。10m以上糸を出す時はゼンマイを解除しながら行ってください。
10m以上出した時はゼンマイの力で10mまで巻き、残った糸は手で巻いてください。
カルコが完全に収納されてからゼンマイチャージを行ってください。

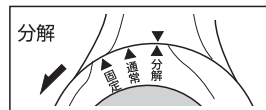
③ 固定・分解・組立

①ゼンマイ解除
ゼンマイの巻き戻す力が無くなるまで解除スイッチを数回押します。



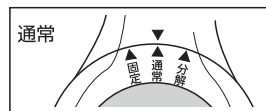
② 分解

ドラムカバーを▲分解方向へ回し、本体の▼とドラムカバーの▲分解を合わせるとドラムカバーが外れます。



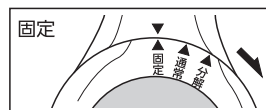
③ 組立

ドラムカバーの▲分解と本体の▼を合わせるようにはめ、▲固定方向に回し、▲通常を本体の▼に合わせます。



④ ゼンマイチャージ

本体側面のゼンマイ調整ツマミを▲方向へ3～4回まわしてゼンマイをチャージします。カルコを引っ張り、きちんと戻るか確認してからご使用ください。

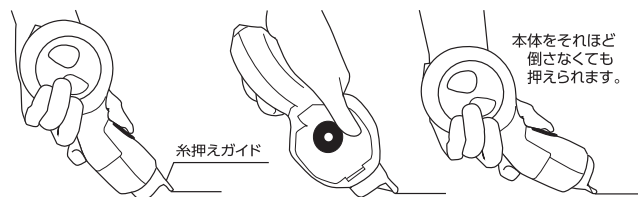


⑤ 固定

本体の▼とドラムカバーの▲固定を合わせるように▲固定方向に回すと、つぼ糸が固定されます。

④ 糸押えガイド (取り外し可)

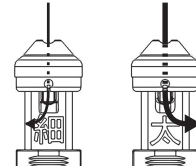
糸押えガイドは回転でき、90°毎にカチッと止まります。ご使用になる方のやり方や場所に合わせて糸を押さえることができます。



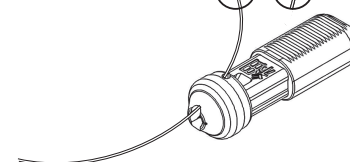
■安全カルコ II の取付方法

① つぼ糸を安全カルコ II の先端から通します。
細い糸の場合は「細」側の穴に、太い糸の場合は「太」側の穴に通してください。

細い糸 (φ0.5～0.6mm) 太い糸 (φ1.0mm)

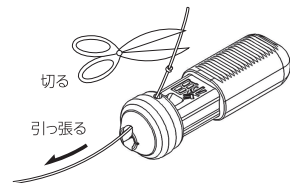


② 通したつぼ糸の先端に結び目を作ります。



④ 余分に出ている糸を切れば完成です。

③ 糸を引っ張り結び目をカルコの窪みにはめ込みます。



注意

- つぼ糸がほつれたり、切れかかったまま使用すると作動不良の原因となります。すぐに傷んだ部分まで切って、カルコに結び直してください。
- ゼンマイ調整ツマミは逆に回さないでください。逆に回すと故障の原因となります。
- ドラムを下にしてのタンクの開閉はしないでください。余分な墨がドラム内に漏れて故障の原因となります。
- 墨液は入れ過ぎないでください。漏れの原因となります。余分な墨はカルコを引き出し、カルコ収納口より本体を振って出します。
- タンクフタはカチッとなるまで完全に閉めてください。タンクが開いていると墨が漏れます。